

川口康裕鳴門教育大学客員教授による特別講義

消費者教育 国際理解教育

「数学・理科・技術・工業・情報・家庭を往還した教科横断型単元の構成とカリキュラム」, 「国際理解の教育総合デザイン」, 「学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ（社会）」の合同授業として実施します。

2022

① 12/2(金)4限 (14:40~16:10) B203 対面形式

② 12/9(金)4限 (14:40~16:10) Teams による
オンライン同期型

2022年4月より成人年齢が18歳に引き下げられ、「生きる力」を育み、自立した判断や選択の力を育てる消費者教育を一層充実させるため、学校全体で取り組みを進めることが求められています。

長年、第一線で消費者行政を牽引され、昨年未までラトビアで大使を務めた川口客員教授より、1回目には「生きる力」を育む消費者教育の意義及び消費者法の歩みを、そして2回目にはNATOの東側面でロシアに接するラトビアについてご講義いただきます。

川口康裕 鳴門教育大学客員教授 略歴

昭和57年 経済企画庁に入庁
平成26~30年 消費者庁次長
平成30~令和3年 ラトビア共和国駐劄特命全権大使
令和3年 ラトビア共和国国家勲章三つ星勲章コマンドー章受章
令和4年~現在 鳴門教育大学客員教授
消費者庁政策参与



2021年9月30日 ラトビア大使公邸における在外公館長表彰式での川口康裕客員教授(当時 ラトビア大使)と、ラトビア リガ文化学校副校長マルティンシュ・ベルズインシュ氏(2009-2011年 本学大学院 教員研修留学生)。